



多摩っ子 ESD



Vol.1

持続可能な開発のための教育



ESDの推進

Education for Sustainable Development



ESDとは？

環境・貧困・人権・平和・開発といった様々な地球規模の課題を、自らの問題として捉え、一人ひとりが自分にできることを考え、実践していくこと(Think globally, Act locally)を身に付け、課題解決につなげる価値観や行動を生み出し、持続可能な社会を創造していくことを目指す学習や活動です。つまり、「持続可能な社会の創り手」を育成する教育です。

多摩市のESDとは？

平成21年(2009年)から「2050年の大人づくり」をスローガンに、ESDを推進し、今年で11年を迎えました。これまでに、多摩市全公立学校が「ユネスコスクール」として、環境教育をはじめとしたさまざまな視点から、ESDの推進拠点として特色のある活動を展開してきました。

次の10年を見据えて

「2050年の大人づくり」に向けたセカンドステージ

セカンドステージの3つの方策

I 小中連携したESDの推進

子どもたちの実態を踏まえ、各中学校区においてESDを通じて育成する資質・能力を設定し、小学校の学びを中学校へつなげていきます。



II SDGsを踏まえたESDの推進

2030年までに持続可能なよりよい社会を目指す国際目標SDGs (Sustainable Development Goals)を踏まえた教育活動やESDの視点を明らかにした教科等横断的な学習を推進します。

III 「多摩市子どもみらい会議」の充実

平成27年(2015年)から開催してきた子どもたちによるESDの実践の場である「多摩市子どもみらい会議」において、参加した子どもも大人もみんな、その実践の在り方を共有し、ESDの学びを実生活や社会の変容へつなげていきます。



「多摩市子どもみらい会議」のあゆみ

多摩市教育委員会では、平成27年度(2015年)から令和元年度(2019年)まで5か年をかけ、多摩市全公立学校のESDの特色のある取組を発表、共有したり、テーマに基づいて話し合い、市政や地域、市内全校にメッセージを発信してきました。

年	テーマ	メッセージ
平成27年度 (2015)	防災	自分の知識を地域の知識に～防災に強い街づくりへ～
平成28年度 (2016)	環境	世界の課題に目を向け、自分にできることを実行し、発信していこう
平成29年度 (2017)	環境	全ての世代が自分たちにできることを知り、連携して実行しよう
平成30年度 (2018)	国際理解	Welcomeに市民が人と関わり、教え合う場をつくろう
令和元年度 (2019)	SDGs 11 (地域)	地域や自然との関わりを大切にし、それを行動にうつすことで、多摩市を住み続けられるまちにしよう



令和2年度以降のESD推進校の紹介



令和2年度から令和5年度の4年間をかけ、多摩市全公立学校をESD推進校として指定していきます。ESD推進校は中学校区で指定し、小中の連携を図ったESDを推進していきます。さらに、ESD推進校は「多摩市子どもみらい会議」の発表校となります。

【ESD推進校】

令和2・3年度	令和4年度	令和5年度
多摩中学校区 (多摩中学校) (多摩第一小学校) (東寺方小学校)	和田中学校区 (和田中学校) (多摩第二小学校)	諏訪中学校区 (諏訪中学校) (北諏訪小学校) (諏訪小学校)
聖ヶ丘中学校区 (聖ヶ丘中学校) (連光寺小学校) (聖ヶ丘小学校)	多摩永山中学校区 (多摩永山中学校) (永山小学校) (瓜生小学校)	東愛宕中学校区 (東愛宕中学校) (多摩第三小学校) (愛和小学校)
鶴牧中学校区 (鶴牧中学校) (南鶴牧小学校) (大松台小学校)	落合中学校区 (落合中学校) (西落合小学校) (東落合小学校)	青陵中学校区 (青陵中学校) (貝取小学校) (豊ヶ丘小学校)



Vo.2ではESD推進校の取組を紹介します!

